



**KANOMAX**  
*The Ultimate Measurements*

# 0.1 $\mu$ m パーティクルカウンター

---

MODEL 3950

取扱説明書



## 構成品目

### ■ 標準品

品名	モデル	機能
本体	3950-00	本体
AC アダプター	3910-08	専用アダプター
USB ケーブル	-	PC と通信できます。
ゼロフィルター	3950-60	本体内部のエアークルを清浄な空気で洗浄するのに使われます。
タイゴンチューブ(1m)	-	インレットに接続して測定します。
インレット保護キャップ	-	使用しない時に内部への異物の侵入を防ぎます。
ソフトウェア CD	3950-40	リモート計測用ソフトウェア、取扱説明書

### ■ オプション品

品名	モデル	個数
小型プリンター	NP-DPU-S245-00C-E	1
3950 用モバイルバッテリー	3950-10	1
3950 用バッテリーホルダー	3950-70	1
3950 用バッテリーホルダー(モバイルバッテリー付き)	3950-71	1

### ■ 消耗品

品名	モデル	個数
ゼロフィルター	3950-60	1

## ご使用いただく前に

当社では取扱説明書の中での警告の種類と定義を以下のように定めています。

### 表示の説明



#### **警告**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡や大けがなどの人身事故の発生が想定される内容を示しています。



#### **注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

#### **重要**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、製品に物的損傷を与えるか、性能保証できない場合が想定される内容を示しています。

### 記号の説明



記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止事項（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の近傍に具体的な指示内容が描かれています。



記号はレーザー光線の危険の可能性を注意するものです。



## **警告**



**（使用禁止）** A C 電源を使用される場合は、付属の専用 A C アダプターをご使用ください。故障の原因になります。発熱・発火の危険があり、火災や事故につながります。



**（改造/分解禁止）** 本機の分解・改造・修理は絶対しないでください。本機は光源にクラス 4 レーザーを使用しています。分解すると光源により失明などの事故につながります。電池ケース以外は絶対に開けないで下さい。



(正しく取扱う) 本取り扱い説明書の指示に従って正しくお使いください。  
誤った使い方をされると、感電や発火、センサー破損などの原因となります。



(注意) 本機より異常音、異常な臭い、煙などが発生した場合や本機内に液体などが混入した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電池または電源プラグを抜いて下さい。  
感電や発火、本器の故障の恐れがあります。  
ご購入先もしくはカノマックス・サービスセンターまで修理をご依頼ください。

## 注意



(正しく取扱う) 使用されないときは電源プラグを抜いてください。  
感電や発火、回路破損の原因となります。

## 重要



(禁止) 本機を高温多湿・ホコリの多い場所においての計測または、直射日光のもと長時間、  
放置しないでください。  
使用温度範囲外では正常に動作しない場合があります。



(禁止) 本機に強いショックを与えないでください。  
落下させたり、ぶつけたり等をしますと故障・破損の原因となります。



(禁止) お手入れの際、シンナー・ベンジン等の溶剤で本機を拭かないでください。  
ケースが変形・変質する恐れがあります。汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。また、  
汚れがひどい場合には、中性洗剤を含ませた布で乾拭きしてください。



(禁止) 液晶画面を尖った物や強い力で押さえないで下さい。  
画面にムラが出たり、故障の原因となります。  
また、急激な温度変化も、液晶画面の故障の原因となります。



(正しく取扱う) 保管する場合は-10～50℃の結露しない場所に保管して下さい。



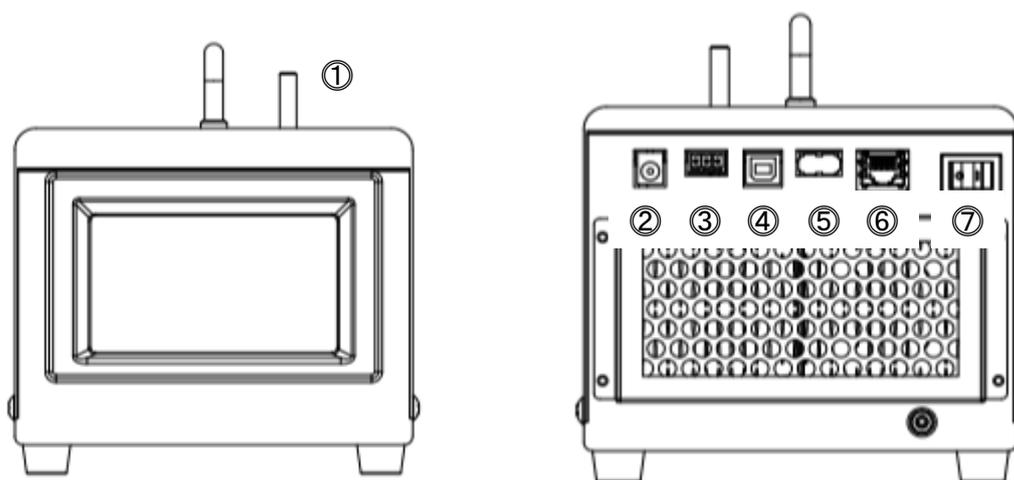
(禁止) 廃棄の際は、一般ゴミと一緒に捨てないで下さい。  
本機および電池を廃棄する際は、法令に従って下さい。または販売代理店までお問い合わせ  
下さい。

## 目次

---

<b>第1章</b>	<b>各部の名称と働き</b> .....	<b>5</b>
<b>第2章</b>	<b>計測前の準備</b> .....	<b>6</b>
	ACアダプター .....	6
	暖機運転 .....	6
<b>第3章</b>	<b>全体フロー</b> .....	<b>6</b>
	内部クリーニング .....	6
	計測 .....	6
	エラー .....	6
<b>第4章</b>	<b>ユーザーインターフェース</b> .....	<b>7</b>
	タイトル画面 .....	7
	メイン画面 .....	7
	一般設定 .....	9
	計測設定 .....	11
	プリセット .....	12
	履歴 .....	13
	印字例 .....	14
	遷移画面 .....	15
<b>第5章</b>	<b>主な仕様</b> .....	<b>16</b>
<b>第6章</b>	<b>故障かなと思ったら</b> .....	<b>17</b>
<b>第7章</b>	<b>製品保証とアフターサービス</b> .....	<b>18</b>
<b>第8章</b>	<b>お問い合わせ先</b> .....	<b>19</b>

## 第1章 各部の名称と働き



名称	機能
① インレット	2.83L/min で吸引します。 外径 6.4mm
② DC 電源端子	専用 AC アダプターを接続します。
③ 通信端子	RS-485 方式で通信を行います。
④ USB 端子(PC用)	USB ケーブルで PC と接続します。
⑤ USB 端子(プリンター用、USB メモリ用)	USB ケーブルでプリンターと接続します。 USB メモリーへ結果をコピーします。
⑥ 通信端子	イーサネット方式で通信を行います。
⑦ 電源スイッチ	本体電源のオン/オフを行います。

## 第2章 計測前の準備

### AC アダプター

- 本機は付属の AC アダプターで動作します。

### 暖機運転

- 本体を、測定環境温度の異なる所から持ち込んだ場合は、環境温度に十分なじませた状態(10 分以上の運転)で測定を開始してください。急激な温度変化は計測誤差の原因となる場合があります。

## 第3章 全体フロー

### 内部クリーニング

- 使用する前には付属のゼロフィルターで本器をパージ(内部クリーニング)します。
- 保護キャップをはずし、インレットに付属のゼロフィルターを取り付けます。
- 電源を入れ、計測開始ボタンを押し、10～15 分連続測定します。カウント値が安定し、増加・減少しない状態が 10 秒以上保持されているのが確認できたら、測定を終了してください。(ゼロになりにくい場合、測定しながらゼロフィルターの入り口を数秒間塞ぐことでクリーニングを促進することができます。)
- ゼロフィルターを取り外します。

### 計測

- 付属のタイゴンチューブをインレットに接続します。(タイゴンチューブをご使用いただいた方が周囲の影響を受けにくくなります)
- 一般設定サブメニューおよび計測設定サブメニューから必要な設定を行います。
- 計測モードから計測条件を設定します。またはプリセットから計測条件を選択します。
- メイン画面へ戻り、計測開始ボタンを押し、計測を行います。
- 自動または計測停止を押すことにより、計測が終了します。
- 履歴サブメニューから過去の計測結果を確認できます。
- 1 日 8 時間以上運転しないでください。



#### 注意

本製品は、清浄度が高いクリーンルーム内での使用を想定した精密計測器です。一般大気中でのサンプリング吸引は出来るだけ避けて下さい。最大可測濃度を超える空気の吸引は光学系内部を汚染する場合があります、安定した測定ができなくなることがあります。吸引する材料によっては少量でも汚染される可能性があり、光学系内部の汚染による故障については、保証できない場合があります。

### エラー

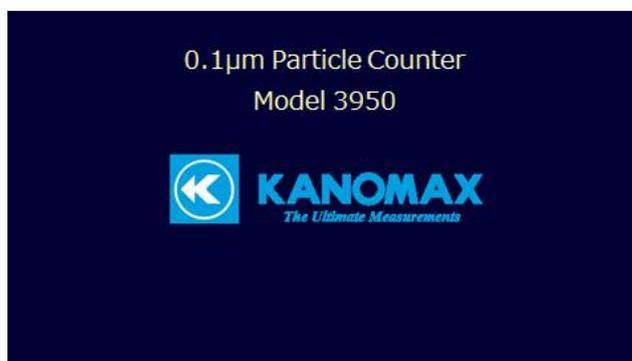
- 自己診断機能により、下記のエラーが発生する可能性があります。但し計測等の処理は継続されます。

レーザー出力	レーザー発光部の故障または寿命が考えられます。
流量	ポンプ電流が増加または減少しており、インレットにインレット保護キャップを付けている場合は外して下さい。エラーが消えない場合はポンプの故障または寿命が考えられます。
最大値オーバー	計測できる濃度を越えています。より清浄な所で計測するか、ゼロフィルターを装着して計測して下さい。

## 第4章 ユーザーインターフェース

### タイトル画面

- 電源スイッチをオンにし、しばらく待つとタイトル画面が表示されます。4秒後、自動的にメイン画面に移行します。タイトル画面をタップしてもメイン画面に移行します。



### メイン画面

- 目的に応じて3つのメイン画面を選択できます。またメイン画面から下層の画面へ移動できます。

表形式

累計  $\Sigma$



表形式

差分  $\Delta$



棒グラフ

累計  $\Sigma$



計測中は  
線グラフが  
表示されます

マーク	名称	機能
	一般設定	「単位、カレンダー、データ、言語、音」の設定と「機器情報」を示すメニューが開きます。
	計測設定	「モード、アラーム、保存、リモート、」を設定するメニューが開きます。
	プリセット	最大 12 件のプリセットを設定または選択するメニューが開きます。
	履歴	過去の計測結果を閲覧、データの印刷ができます。
	メイン変更	メイン画面が「棒グラフ」→「表形式Σ」の順で変わります。
	ΣΔ表示切替	メイン画面が「差分Δ」に切り替わります。※
	ΣΔ表示切替	メイン画面が「累積Σ」に切り替わります。※
	計測開始	計測を開始します。
	計測停止 計測中断	計測を停止あるいは中断します。
	粒径設定	線グラフをタップすると、表示したい粒径（0.1/0.3μ）の切替ができます。
	エラー	エラーをタップすると、エラー内容が表示されます。

※累積Σの 0.1μm レンジの個数は、0.1μm 以上全粒径の累積個数で、0.3μm の個数も含まれます。

※差分Δの 0.1μm レンジの個数は、0.1μm 以上 0.3μm 未満の粒径の個数です。

マーク	名称	機能																							
繰り返し	モード表示	<p>選択した計測モードを表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">モード</th> <th>表示</th> </tr> <tr> <th>メイン画面</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰り返し</td> <td>繰り返し</td> </tr> <tr> <td>シングル</td> <td>シングル</td> </tr> <tr> <td>連続</td> <td>連続</td> </tr> <tr> <td>計算</td> <td>計算</td> </tr> </tbody> </table>	モード	表示	メイン画面	繰り返し	繰り返し	シングル	シングル	連続	連続	計算	計算												
		モード		表示																					
メイン画面																									
繰り返し	繰り返し																								
シングル	シングル																								
連続	連続																								
計算	計算																								
		<p>選択したプリセットを表示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">モード</th> <th colspan="3">表示</th> </tr> <tr> <th>プリセット 1</th> <th>プリセット 2</th> <th>プリセット 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰り返し</td> <td>P1(繰り返し)</td> <td>P2(繰り返し)</td> <td>P3(繰り返し)</td> </tr> <tr> <td>シングル</td> <td>P1(シングル)</td> <td>P2(シングル)</td> <td>P3(シングル)</td> </tr> <tr> <td>連続</td> <td>P1(連続)</td> <td>P2(連続)</td> <td>P3(連続)</td> </tr> <tr> <td>計算</td> <td>P1(計算)</td> <td>P2(計算)</td> <td>P3(計算)</td> </tr> </tbody> </table>	モード	表示			プリセット 1	プリセット 2	プリセット 3	繰り返し	P1(繰り返し)	P2(繰り返し)	P3(繰り返し)	シングル	P1(シングル)	P2(シングル)	P3(シングル)	連続	P1(連続)	P2(連続)	P3(連続)	計算	P1(計算)	P2(計算)	P3(計算)
モード	表示																								
	プリセット 1	プリセット 2	プリセット 3																						
繰り返し	P1(繰り返し)	P2(繰り返し)	P3(繰り返し)																						
シングル	P1(シングル)	P2(シングル)	P3(シングル)																						
連続	P1(連続)	P2(連続)	P3(連続)																						
計算	P1(計算)	P2(計算)	P3(計算)																						

#### 一般設定

- メイン画面で「一般設定」を選択し、「単位、カレンダー、データ、言語、音」の設定を行います。また「機器情報」を示します。



マーク	名称	機能
	単位	<p>下記 3 種類から選択することにより、「メイン画面、計測結果」の計測値に反映されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• count : 計測した積算個数</li> <li>• /m3 : 1 立方メートル当たりの個数(換算)</li> <li>• /ft3 : 1 立方フィート当たりの個数(換算)</li> </ul>
	カレンダー	<p>日時を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 設定ボタンをタッチするとテンキーが現れますので、 20□□年□□月□□日□□時□□分の□に数字を入れて下さい。</li> </ul>

	<p>データ</p>	<p>計測済みデータ全体に関する情報確認と操作ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• メモリー残量：全メモリー容量に対する空メモリー容量の比率を表示します。</li> <li>• 記録数：保存されている記録数を表示します。</li> <li>• コピー：USBメモリーへ全てのファイルをコピーできます。</li> <li>• 削除：全てのファイルを削除しますので、削除前にコピーすることをお勧めします。</li> </ul> <p>計測データをUSBメモリーへコピーしたり、本体メモリーから削除する場合は、部分的なコピーや削除ではなく一括処理ですので、以下の手順で行ってください。</p> <table border="1" data-bbox="560 562 1406 1077"> <thead> <tr> <th data-bbox="560 562 730 607">ステップ 1</th> <th data-bbox="730 562 1070 607">ステップ 2</th> <th data-bbox="1070 562 1406 607">ステップ 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="560 607 730 1077"> <p>一般設定でデータを選択</p>  </td> <td data-bbox="730 607 1070 1077"> <p>【USBメモリーへコピー】</p>  <p>本体にUSBメモリーを挿し、「全てコピー」をタップします。</p> <p>【計測データを削除】</p>  <p>「全て削除」をタップします。</p> </td> <td data-bbox="1070 607 1406 1077">   <p>「はい」で実行します。 「いいえ」で実行せずに戻ります。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3	<p>一般設定でデータを選択</p> 	<p>【USBメモリーへコピー】</p>  <p>本体にUSBメモリーを挿し、「全てコピー」をタップします。</p> <p>【計測データを削除】</p>  <p>「全て削除」をタップします。</p>	  <p>「はい」で実行します。 「いいえ」で実行せずに戻ります。</p>
ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3						
<p>一般設定でデータを選択</p> 	<p>【USBメモリーへコピー】</p>  <p>本体にUSBメモリーを挿し、「全てコピー」をタップします。</p> <p>【計測データを削除】</p>  <p>「全て削除」をタップします。</p>	  <p>「はい」で実行します。 「いいえ」で実行せずに戻ります。</p>						
	<p>言語</p>	<p>言語選択をします。 英語、日本語</p>						
	<p>音</p>	<p>操作音のON/OFFを設定します。</p>						
	<p>情報</p>	<p>機器情報を示します。 最終校正日：ご使用状況に依存しますが、1年毎の校正をお勧めします。 バージョン：本体ソフトウェアのバージョンを表示します。</p>						

## 計測設定

- メイン画面で「計測設定」を選択し、「モード、アラーム、保存、リモート」に関する設定を行います。



マーク	名称	機能																									
	モード	<p>4種類の計測モードを選択します。最後に選択したモードで計測されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しモード：設定したサンプリング時間で計測回数分計測します。</li> <li>シングルモード：設定したサンプリング時間で1回計測します。</li> <li>連続モード：停止ボタンを押すまで連続計測を行います。</li> <li>計算モード：設定したサンプリング時間で計測回数分計測し、平均、標準偏差、最大、最小の計算を行います。</li> </ul>																									
		<p>4種類の計測モードごとに必要な条件を設定します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>場所</th> <th>計測時間</th> <th>繰り返し回数</th> <th>繰り返し時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰り返し</td> <td>設定</td> <td>設定</td> <td>設定</td> <td>設定</td> </tr> <tr> <td>シングル</td> <td>設定</td> <td>設定</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>連続</td> <td>設定</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計算</td> <td>設定</td> <td>設定</td> <td>設定</td> <td>設定</td> </tr> </tbody> </table>		場所	計測時間	繰り返し回数	繰り返し時間	繰り返し	設定	設定	設定	設定	シングル	設定	設定	—	—	連続	設定	—	—	—	計算	設定	設定	設定	設定
			場所	計測時間	繰り返し回数	繰り返し時間																					
		繰り返し	設定	設定	設定	設定																					
シングル	設定	設定	—	—																							
連続	設定	—	—	—																							
計算	設定	設定	設定	設定																							
<p>表示部(  )をタップすると、テンキーが現れますので、数字で設定します。</p> 																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>説明</th> <th>範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>場所</td> <td>計測場所を番号で設定します。</td> <td>1-99</td> </tr> <tr> <td>計測時間</td> <td>1回の計測時間を設定します。</td> <td>6秒-99分59秒</td> </tr> <tr> <td>繰り返し回数</td> <td>繰り返し回数を設定します。</td> <td>2-9999</td> </tr> <tr> <td>繰り返し間隔</td> <td>開始と開始の間隔時間を設定します。 これは計測時間よりも長くする必要があり、計測時間との差が停止時間になります。</td> <td>6秒-99分59秒</td> </tr> </tbody> </table>	設定項目	説明	範囲	場所	計測場所を番号で設定します。	1-99	計測時間	1回の計測時間を設定します。	6秒-99分59秒	繰り返し回数	繰り返し回数を設定します。	2-9999	繰り返し間隔	開始と開始の間隔時間を設定します。 これは計測時間よりも長くする必要があり、計測時間との差が停止時間になります。	6秒-99分59秒												
設定項目	説明	範囲																									
場所	計測場所を番号で設定します。	1-99																									
計測時間	1回の計測時間を設定します。	6秒-99分59秒																									
繰り返し回数	繰り返し回数を設定します。	2-9999																									
繰り返し間隔	開始と開始の間隔時間を設定します。 これは計測時間よりも長くする必要があり、計測時間との差が停止時間になります。	6秒-99分59秒																									

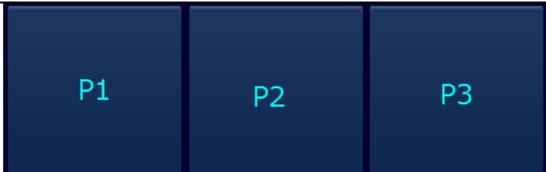
マーク	名称	機能
	アラーム	計測累計値Σが増加した際、アラームが出るしきい値を設定できます。 しきい値( )をタップし設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>アラーム：アラーム機能の ON/OFF を選択します（初期値は OFF）。</li> <li>しきい値：粒径毎の累積値Σのしきい値を設定します（初期値は 2,000,000）。このしきい値がグラフ表示の上限になります。</li> </ul>
	保存	計測データの保存の要・不要を設定します。
	リモート	コンピュータからのコマンドにより計測を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>設定：接続方式「RS485」、「イーサネット」と各接続方式での通信パラメータを設定します。ID は機器の識別番号です。</li> <li>接続:コンピュータに接続します。</li> </ul>

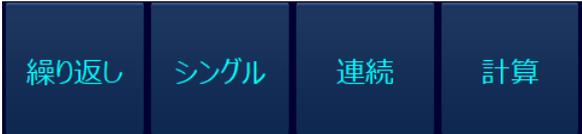
## プリセット

- メイン画面で「プリセット」を選択し、設定と選択を行います。



- 3つのプリセット番号内に4つの計測モードがありますので、合計12個の計測条件をプリセットすることができます。
- プリセットの設定は、下図の1~4のステップで設定と選択を行います。✓を押すと測定モードが選択されます。

ステップ 1	ステップ 2
メイン画面でプリセットを選択	プリセット番号の選択 まだ計測条件は選択されていません。
	

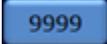
ステップ 3	ステップ 4
モードの選択 まだ計測条件は選択されていません。	計測条件の設定、選択 ✓を押すと計測条件が選択されます。
	

## 履歴

- メイン画面で「履歴」を選択し、計測結果の確認、印刷ができます。



ステップ 1	ステップ 2
メイン画面で履歴を選択します。 	計測モードを選択します。 

ステップ 3	
計測結果が表示されます。 	 前の番号の履歴を表示します。  次の番号の履歴を表示します。  任意の番号を選択し、履歴を表示します。  単位 (CNT、CF、m <sup>3</sup> ) を選択できます。  結果をプリンター(オプション)で印刷します。

## 印字例

プリンターによる印字例を示します。

### (1) Repeat mode

2019/04/19 11: 02		E= - - -
Repeat	Number	1
	Location	1
	S-Time	00:21
	I -Time	00:21
0.1um	16	CNT
0.3um	14	CNT

### (2) Single, Continuous mode

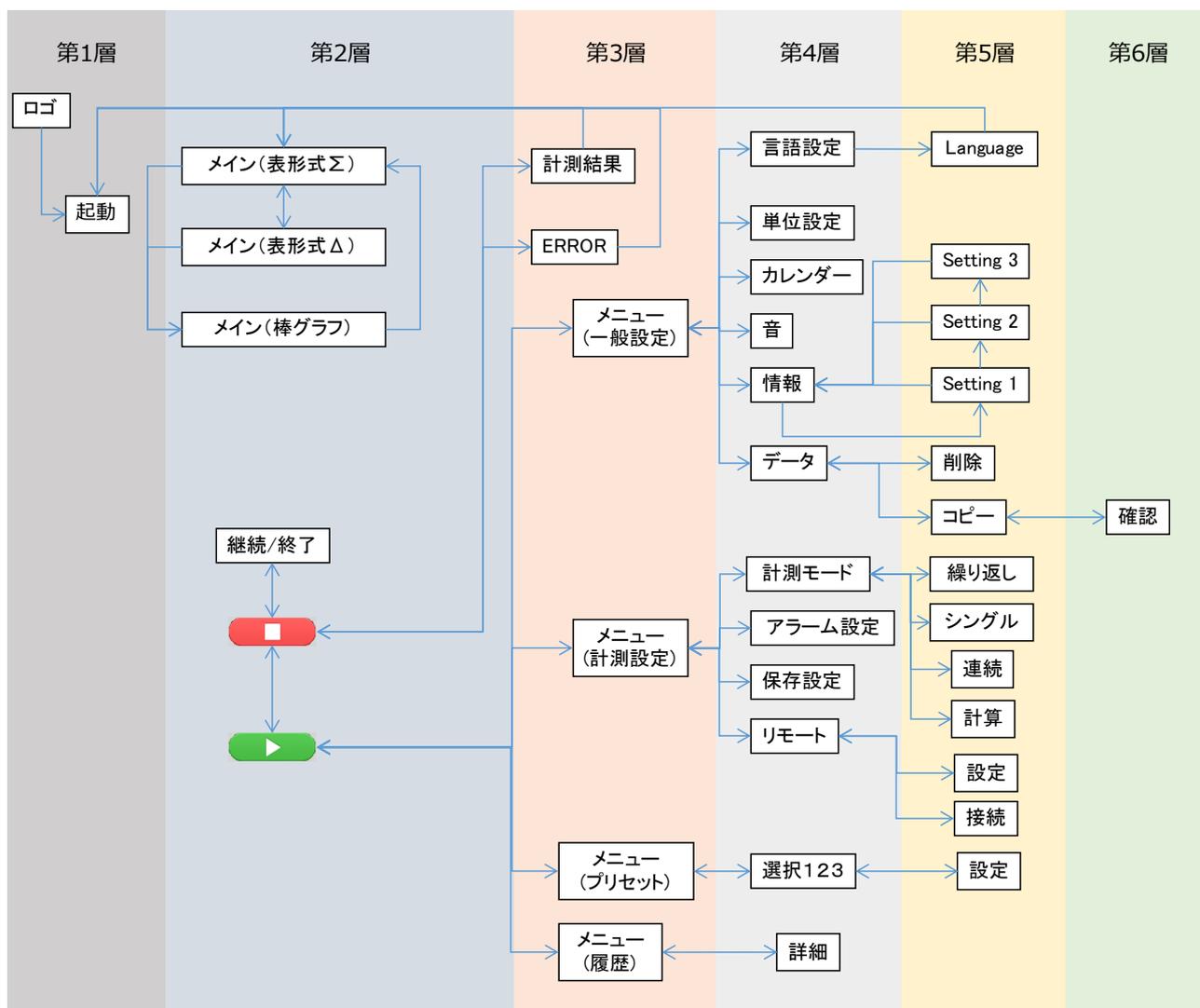
2019/04/19 11: 02		E= - - -
Single	Number	1
	Location	1
	S-Time	00:21
0.1um	16	CNT
0.3um	14	CNT

### (3) Calculation mode

2019/4/19 11: 02		E= - - -
Calculation	Number	7
	Location	1
	S-Time	00:21
	I -Time	00:21
	Times	2
0.1um	AVE	87CNT
	SD	128CNT
	MAX	235CNT
	MIN	0CNT
0.3um	AVE	39CNT
	SD	66CNT
	MAX	116CNT
	MIN	0CNT

## 遷移画面

- 画面は6層の階層で構成されており、2層以下の操作が中心となります。
- 計測していない時は「計測待機」メイン画面、計測している時は「計測中」メイン画面が表示されます。
- 「計測待機」メイン画面から4つのメニュー画面「一般設定、計測設定、プリセット、履歴」へ入ることができます。



## 第5章 主な仕様

品名	0.1 $\mu$ m パーティクルカウンター	
Model名	3950-00	
粒子計測	計測方式	光散乱
	粒径区分	2 粒径(0.1、0.3 $\mu$ m)
	定格流量	0.1CFM(2.83L/分)、精度 $\pm$ 5% (JIS B9921 および ISO21501-4 に準拠)
	計測時間	6 秒～99 分 59 秒 (1 回の計測時間)
	繰り返し時間	6 秒～99 分 59 秒 (繰り返し時のスタートとスタートの間隔)
	繰り返し回数	1～9999 回または連続計測
	場所区分	99 ヶ所
	計測モード	繰り返し、シングル、連続、計算
	計測値表示	累積 $\Sigma$ 、差分 $\Delta$ および棒グラフ
	最大可測濃度	10,000,000 個/ $m^3$ (計数損失 10%以下 JIS B9921 および ISO21501-4 に準拠)
	計数効率	50 $\pm$ 20% (最小可測粒径付近の PSL 粒子に対して) 100 $\pm$ 10% (最小可測粒径の 1.5 倍から 2 倍の PSL 粒子に対して) (JIS B9921 および ISO21501-4 に準拠)
	偽計数	1 個以下/35 分間 (JIS B9921 および ISO21501-4 に準拠)
	粒径分解能	15%以下(0.3 $\mu$ m 付近の PSL 粒子に対して) (JIS B9921 および ISO21501-4 に準拠)
ポンプ	内蔵	
表示器、操作	タッチパネル付 4.3 インチカラー液晶	
通信機能	データ	USB (Host はプリンター用と USB メモリー用、Device は PC 用)
	リモート計測	Modbus(イーサネット、RS485(9600、19200、38400 baud))
記録媒体	媒体	内蔵メモリー
	記録容量、形式	最大 8MB、CSV 形式
言語	日本語、英語	
電源	AC アダプター 入力 100～240 V 出力 DC15V 4A	
動作環境	15～35 $^{\circ}$ C、0～85%RH (結露が無いこと)	
保存温度	-20～50 $^{\circ}$ C (結露が無いこと)	
サイズ	W150 X H163 X D228 mm	
重量	3.4kg	
初期付属品	本体、AC アダプター、USB ケーブル、ゼロフィルター、タイゴンチューブ (1m)、 インレット保護キャップ、ソフトウェア CD	
保証動作時間	1 日 8 時間以内、年間 240 日以内	

## 第6章 故障かなと思ったら

症状	考えられる原因→処置	参照ページ
電源スイッチをオンにしても画面表示がでない。	AC アダプターが正しく接続されていない→AC アダプターまたは電源コードを確認してください。	6
粒子の計測値が高い	計測環境の濃度が高いまたは故障している→ゼロフィルターを付けてゼロになれば正常です。 内部が汚れている場合、測定しながらゼロフィルターの入り口を数秒間塞ぐことでクリーニングを促進することができます。 しかしゼロに戻らない場合は故障の可能性があります。	6
粒子の計測値が低い	レーザー出力または流量の異常→故障の可能性があります。	-
印字しない	プリンターの設定が正しくない→プリンターの取扱説明書を参照して設定を確認してください。	-
データが保存されない	データ保存設定が OFF -> データ保存設定を確認してください。	12
	データ残量が残っていない場合があります。	10

## 製品保証

- ◆ 当社では、製品保証書を発行しておりません。  
製品には登録カードが添付されておりますので、ご購入の際は必ずご確認ください。  
登録カードの記載内容に従って製品登録されますと、当社にて保証管理を開始いたします。  
なお、ご登録なき場合は保証しかねる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 保証期間は電池などの消耗品を除き、原則としてご購入日から2年間です。
- ご利用に伴う計測精度の劣化は保証対象外となります。
- ご使用環境や計測頻度によっても異なりますが、年1回の定期校正を推奨いたします。
  
- ◆ 具合の悪いときはまずチェックを…  
“故障かな？”の項をお読みになり、故障かどうか、お確かめください。
- ◆ それでも調子の悪いときは当社サービスセンターへ…  
販売元の日本カノマックス(株) サービスセンター、または、お近くの弊社営業所（最終ページ参照）、もしくは、お買い上げの店に、ご連絡ください。
- ◆ 保証期間中での修理は…  
当社の製造上、回路部品、材質などの原因によって故障が発生した場合は、無料で修理させていただきます。
- ◆ 保証期間が経過した後の修理は…  
修理によって、機能、及び精度が維持できる場合は、ご要望にしたがって有償修理させていただきます。
- ◆ 修理部品の保有期間について…  
部品供給・メンテナンスは原則として、販売終了から5年を目安としております。部品は必要量を予測して確保しておりますが、不測の事態により、販売終了から5年経過前に部品供給・メンテナンスを終了させていただく場合があります。詳しくは当社サービスセンターへ、ご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- \* 製品名
- \* 型名
- \* 器番
- \* 故障の状況
- \* ご購入年月



**KANOMAX**  
*The Ultimate Measurements*

日本カノマックス株式会社

〒565-0805 大阪府吹田市清水2番1号

**この製品に関するお問い合わせ**

環境計測事業部 カスタマーサポート

TEL 0120-009-750

E-mail: [environment@kanomax.co.jp](mailto:environment@kanomax.co.jp)

**修理に関するお問い合わせ**

サービスセンター

TEL 0120-981-959

E-mail: [service@kanomax.co.jp](mailto:service@kanomax.co.jp)

□ 東京営業所

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目6番2号

TEL: (03) 5733-6023 FAX: (03) 5733-6024

□ 大阪営業所

〒565-0805 大阪府吹田市清水2番1号

TEL: (06) 6877-0447 FAX: (06) 6877-8263

□ 名古屋営業所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-7-26 丸の内ACAビル 603号室

TEL: (052) 953-5660 FAX: (052) 953-5661

©2019-2020 日本カノマックス株式会社

無断転載を禁じます。

本書の内容は、断り無く変更することがあります。

03001/2411



**KANOMAX**  
*The Ultimate Measurements*